

一般的に、価格が上がるほど、商品の価値も高くなりま
す。しかし、日本の医療制度
では、個人の支払額が高い医
療行為には疑問を持つ必要が
あります。わが国が誇る国民
皆保険制度では、科学的に有
効性が示されている医療行為
は保険の適用となるからで
す。

「最善・最良の治療」を意
味する「標準治療」は基本的
には健康保険が利きますか
ら、保険の対象外の自由診療
に手を出す必要はまずありま
せん。

しかし、ほとんどの免疫細
胞療法など、効果が不明のが
ん治療を自由診療の形で行う
施設も多く、問題です。では、
あやしい医療の「宣伝行為」

がん社会 を診る

中川 恵一



イラスト・中村 久美

医療広告、断定や曖昧さ要注意

現も要注意です。体験談や治
療前後の画像を単に並べたも
のは信用しない方がいいでし
ょう。

保険が利かない自由診療の
場合、とくに費用や副作用に
ついて確認しなくてはなりま
せん。無料説明会、無料相談
といった表現にも注意が必要
です。

国もこうした問題を重視し

禁止されました。「100%

完治」などの虚偽広告、「日
本有数の実績を誇る」といっ
た比較優良広告、「効果が高
く、おすすめ」などの誇大廣
告も基本的に許されません。

これまで医療機関のホーム
ページも現在は、法令による
規制の対象となっており、違
反に対しては行政処分や刑事
罰等の厳しい制裁が設けられ
ています。

それでも資料の郵送に誘導
するなど、巧妙なやり方で規
制をかいくぐろうとする医療
機関もあるようです。

がん治療は一種の情報戦。
私たち、一人一人が医療情報
に対するリテラシーを高めて
いくことが大切です。

(東京大学病院准教授)

を見破るコツを伝授いたしま
しょう。

まず、ネット検索で上位に
あっても、「広告」のマーク
がついたものは注意しましよ
う。「100%完治」「末期

からの生還」など、断定的な
表現や誇張された表現は信用
しないようにしましょう。

次に「体に優しい」「セレブ
が使っている」「あきらめな
いがん治療」などの曖昧な表

ています。2018年6月に
医療法を改正し、医療機関の
ウェブサイトに新たに医療法

の広告規制の対象となりまし
た。具体的には、患者の体験
談や治療前後の画像の羅列は